

# ジェマディプト港湾海運(GMD)



## 《企業紹介》

同社はベトナムで最初に株式会社化された国営企業の一社である。港湾運営事業を中核とする総合物流企業で、同事業が全社売上高の 88%を占めている(2025 年 12 月期実績)。ハイフォンやホーチミンの主要国際港をはじめ、ベトナムの重化学工業集積地の玄関となっている中部クアンガイ省ズンクアット、2021 年に開港したバリアブントウ省のジェマリンク国際港といったベトナムを代表する主要港湾を中心に事業を展開し、取扱シェアはトップクラスとなっている。

同社は、ハイフォンの工業団地の船積み拠点として開発されているナムディンブー港での積極的な投資を行っている。世界最大級のコンテナ船が寄港できるラックフェン国際港との連携によって更なる港湾運営事業の拡大を目指している。

## 《2025 年 12 月期業績》

2025 年 12 月期の売上高は前期比 23.0% 増の 5.9 兆 VND (ベトナムドン) だった。新規の港湾設備稼働によって港湾運営事業の売上高が同 25.3%増の 5.2 兆 VND と伸びた。物流事業の売上高も同 8.0%増の 6,928 億 VND と増収に転じた。

前期に続いて港湾運営事業の粗利益率改善が牽引役となり、粗利益率が同 1.5%ポイント上昇の 45.7%となったため、粗利益は同 27.2%増の 2.7 兆 VND となった。投資有価証券売却益がなくなったことにより金融収支の受取超過額が前年同期の 2,759 億 VND から 1,157 億 VND に減少したこと、販売費および一般管理費が同 32.3%増の 1.0 兆 VND となったことにより税前利益は同 19.4%増の 2.5 兆 VND となった。純利益は同 15.2%増の 1.6 兆 VND となった。

図表1 年間業績の推移(単位 十億VND)

	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年12月期	
						前期比 (%)
売上高	3,206.3	3,898.2	3,845.9	4,832.3	5,945.6	23.0
粗利益	1,141.8	1,718.1	1,776.4	2,135.5	2,715.4	27.2
粗利益率(%、%ポイント)	35.6	44.1	46.2	44.2	45.7	1.5
金融収支(マイナスは収入)	68.3	141.7	-1,771.9	-275.9	-115.7	-
販売費および一般管理費	448.9	666.6	660.5	822.0	1,087.9	32.3
税前利益	806.2	1,308.5	3,143.7	2,098.6	2,506.0	19.4
純利益	612.2	993.9	2,221.6	1,455.5	1,676.9	15.2

出所 各種資料をもとに当社作成

## 《2025 年 10-12 月期業績》

2025 年 10-12 月期の売上高は前年同期比 14.4%増の 1.6 兆 VND だった。ナムディンブー第 2 港の稼働によって港湾運営事業の売上高が同 13.0%増の 1.4 兆 VND となったほか、構造改革が一巡した物流事業の売上高は同 26.1%増の 1,821 億 VND となった。能力増強が着実に売上高の増加に繋がっているようだ。ナムディンブー第 2 港への積極的な投資が売上高の増加に貢献している様子が窺える。

港湾事業の粗利益率改善によって全体の粗利益率は同 2.9%ポイント上昇の 47.4%になったことから、粗利益は同 21.7%増の 7,656 億 VND となった。金融収支の受取超過額が前年同期の 135 億 VND から 1,018 億 VND に増加したことや、営業外損失が大幅に減少したことなどにより税前利益は同 109.0%増の 7,340 億 VND となった。純利益は同 118.8%増の 5,134 億 VND となった。

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260213

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。



ジェマディプト港湾海運(GMD)



図表2 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	1,411.8	36.6	1,276.9	27.0	1,497.0	26.7	1,560.5	23.4	1,614.4	14.4
粗利益	629.0	47.8	561.6	27.4	645.8	19.1	666.3	14.6	765.6	21.7
粗利益率(%、%ポイント)	44.6	3.4	44.0	0.1	43.1	-2.8	42.7	-3.3	47.4	2.9
金融収支(マイナスは収入)	-13.5	-	-0.6	-	-8.6	-	25.4	-43.7	-101.8	-
販売費および一般管理費	270.3	-2.1	211.7	41.6	205.3	2.0	319.1	75.3	354.6	31.2
税前利益	351.1	38.6	583.1	-17.6	677.4	32.5	511.5	2.2	734.0	109.0
純利益	234.6	104.3	403.0	-28.0	422.6	39.4	315.2	-5.9	513.4	118.8

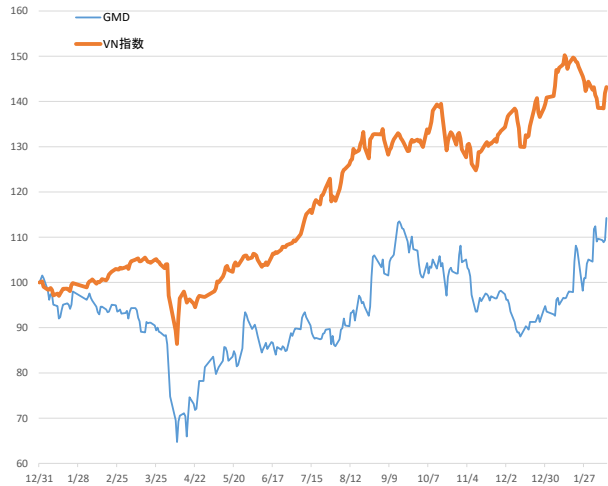
出所 各種資料をもとに当社作成

《株価の推移》

図表 3 は同社の株価と VN 指数について、2024 年末の終値を 100 として指数化したものである。同社の株価は 2025 年の年初から VN 指数を大きくアンダーパフォームしている。2 月 12 日終値ベースの 2024 年末比上昇率は VN 指数が 43%となっているのに対し、同社の株価は 14%となっている。また、2 月 12 日終値 74,500VND で計算した時価総額は 31.7 兆 VND で、2025 年 12 月期実績の純利益 1.4 兆 VND の 23 倍の水準となっている。

2025 年は貿易摩擦が株価パフォーマンスの足枷になったとみられるが、2026 年はナムディンブー第 2 港の評価の高まりが同社の株価パフォーマンスをサポートする可能性がある。ナムディンブー第 2 港はベトナム北部の主要港であるハイフォンにあり、最大級のコンテナ船が停泊可能な水深をもつラックフェン国際港との連携が可能のため、中長期的な取扱高の増加が見込める。ラックフェン国際港は北米への輸送時間短縮といった優位性があり、ラックフェン国際港を核としたハイフォンの港湾がシンガポールや香港と肩を並べ、東アジアおよび東南アジアの海上輸送のハブ港になる可能性もある。同社はナムディンブー第 2 港で積極的な投資を行ってきたが、その投資が実を結ぶ可能性が株価のパフォーマンスを下支えする可能性があるだろう。リスク要因は世界景気の後退による貿易数量の減少だろう。

図表3 株価の推移



出所 株価データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260213

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。